

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370301570
事業所名	グループホーム あさひ名北

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	自治会に入会しており、地域の情報は回覧板で得て、ホームの行事は掲示版、会報を通して「お知らせ」を流し、町内の清掃や祭り等に参加している。近所からの招待で、保育園児とフルーツ狩りをしたり、秋祭りには子ども獅子がホームに来てくれたりする。また、玄関は常時鍵が開いていて近所の子ども達が気軽に遊びに来てくれる。町内の会議の場所の提供も行っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	メンバーはホームドクター、民生委員、自治会長、地域包括支援センター職員、家族代表となっており、2カ月に1回開催されている。入居者の様子や行事の報告をしており、グループホームに関する新聞記事について、意見交換する時もある。家族の意見は全体会議で検討され、次の推進会議で結果が報告される。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	毎回、名北便りを届けたり、空き状況を伝えたりしている。また、自立支援協議会のイベントに参加している。区の保護課の担当者に推進会議への出席等ホームへの訪問をお願いしているが実現には至っていない。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	随時のこまめな連絡、家族等の来訪時に入居者の近況報告や日々の様子を伝えていく。何でも話しやすい雰囲気づくりに努力している。意見箱を設置しているが、意見要望はほとんどない。家族会はないがホームの行事への呼びかけで家族同士の交流に心がけている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。